

# 吹田西ロータリークラブ ウィークリー



ロータリーの未来は  
あなたの手に | THE FUTURE OF ROTARY  
IS IN YOUR HANDS

## 2009～2010 — 創立30周年 —

■ 創立 1980.6.12

事務所 564-0051 吹田市豊津町9番40号 江坂東急ビル1F  
☎(06)6338-0832 FAX(06)6338-0020  
URL http://www.suita-west-rc.com

例会場 江坂東急イン  
564-0051 吹田市豊津町9番6号 ☎(06)6338-0109

例会日 毎月曜日 18:00～19:00

役員 会長：仲辻 章 幹事：清水大吾 会報委員長：岡 信行

### 4つのテスト

- 真実かどうか
- みんなに公平か
- 好意と友情を深めるか
- みんなのためになるかどうか

### ～伝えつなぐ30年 笑顔一杯～ “たしかなこと”

#### 第1376回 例会 平成22年 6月14日

卓話「一年間の総括」 クラブ奉仕 由上理事  
職業奉仕 坂口理事  
社会奉仕 青木理事  
国際奉仕 田中(慶)理事

今週の歌「我等の生業」

#### 先週内容

#### 会長挨拶

仲辻会長



御紹介いただきました、吹田西ロータリークラブ会長の仲辻章でございます。吹田西ロータリークラブ創立30周年記念式典に当たり一言ご挨拶申し上げます。

本日は、阪口善雄吹田市長はじめ、当地域の各界御代表の来賓をお迎えし、さらに国際ロータリークラブ2660地区大谷透ガバナー、大森保子ガバナー補佐、IM2組12RCの会長、幹事の来臨を賜り、厚く御礼申し上げます。

特筆すべきは、本式典に当たり、遠来のお客様をお迎えしていることです。

わがクラブの姉妹クラブであるスリランカ・コロンボセントラルロータリークラブから、パスト会長ファジリ・ニザール御夫妻。

そしてタイ国ナコンパノムロータリークラブからは、総勢23名の方々のご出席を頂いています。

#### 次週 第1377回例会予告 平成22年6月21日

卓話「次年度活動方針」 村井会長エレクト  
Weekly No. 1376は岡委員長が担当しました。  
Weekly No. 1377は島田委員が担当の予定です。  
(本日の原稿をお渡し下さい)

さらに特別のお客様をお迎えしています。タイ国防省海軍次官キアティサック提督とその部下14名の方々です。

そして、ナコンパノムロータリークラブとわがクラブとの提携に当たり、その橋渡し役をされたアリサラさんです。

タイ国では政情不安の折から危惧しておりましたが、来日いただきありがとうございます。

友あり遠方より来る又楽しからずやとの言葉がありますが、多くのお客様を迎え、本日の式典を挙げることを会員一同厚く御礼申し上げます。

顧みますとわがクラブは1980年新大阪の共済会館を例会場とし、チャーターメンバー34名で発足しました。1990年には68名の会員を擁したこともありましたが、その後例会場をここ江坂東急インに移し、現在の会員は49名でございます。

この間、国際奉仕部門では1987年6月、コロンボセントラルロータリークラブと姉妹提携し、コロンボ郊外ケスベア地区のスリランカ住宅建設プロジェクトを立ち上げ、4年間で70戸の住宅を建設、同地区内に於ける児童遊園建設事業、職業訓練センター建設プロジェクト、灌がい用貯水池浚渫工事への寄贈、及び地域環境プロジェクト等を実行してまいりました。

いずれの事業についても、当時の会長、又会員の方々には寄贈の式典に遥々スリランカまで出席をいただいております。

さらに2007年より、タイ国ナコンパノムロータリークラブ、そして一昨年よりの千里ロータリークラブとの提携により、同地区公立学校15校につき、クリーンウォータープロジェクトを立ち上げ、本年2月その完成式に出席することができました。

これら事業のうち、スリランカに於ける住宅建設プロジェクトについては、1989年～1990年度国際ロータリークラブより意義ある業績賞を受賞する栄に浴しました。

国内では、社会奉仕、職業奉仕それぞれ地域に密着した活動を継続的、精力的に行っており、中学生の職業体験からクリーンデーの清掃活動まで、幅広い活動は列挙に暇がありません。

ロータリーの拡大としては創立10周年を機会に、吹田江坂ロータリークラブのスポンサークラブとなり、新クラブの創立に盡力いたしました。

そしてクラブ内では会員相互の親睦を図る種々の親睦活動が盛んです。特に野球同好会は昨年2660地区ガバナー杯争奪軟式野球大会に於いて初優勝の栄冠を得ました。若い会員諸氏の日頃の練習と熱意の賜物です。今後のわがクラブの活動発展の原動力となるものと確信しています。

このようにわがクラブは奉仕の実践と会員相互の親睦に努めてまいりましたが、今後一層、各奉仕部門の活動の充実、発展、並びに会員相互の親睦を図って行く所存です。

本日御出席の皆様方、地域の皆様方の御支援と御鞭撻をお願いする次第です。

なお最後に少しばかり誇らしい報告を申し上げます。即ちわがクラブは永年にわたり会員の例会出席率100%を続けてまいりましたが、本日も会員全員で皆様方をお迎えできたことを非常に喜ばしく思っています。

本日は本当にありがとうございました。

## 出席報告

伊藤委員長

- 会員数 49名
- 来客 81名
- 出席会員数 49名
- 本日の出席率 100.00%
- 5月17日の出席率(メーキャップを含む) 100%

## 来賓挨拶

吹田市長 阪口善雄様



市長の阪口でございます。

吹田西ロータリークラブが創立30周年という輝かしい節目を迎えられ、このような素晴らしい式典を盛大に開催されますことを、心よりお喜び申し上げます。

本市も、今年、市制施行70周年を迎えておりまして、この大きな節目を、皆様方とともにお祝いできますことを大変うれしく思っております。

貴クラブが歩んでこられました30年に及ぶ輝かしい歴史は、歴代の会長をはじめ、役員刻の方々、そして会員の皆様方が力を合わせてこられた年輪であると存じておりまして、この間、関係各位が傾注してこられましたご努力に対し、深く敬意を表する次第でございます。

ロータリークラブは、人道的な奉仕を行い、あらゆる職業において高い道徳的水準を守ることを奨励するとともに、世界における親善と平和の確立に寄与することをめざし、幅広い活動を展開しておられます。

貴クラブにおかれましては、毎月、江坂駅周辺の清掃活動に取り組んでいただいております。平成17年(2005年)には、環境大臣より地域環境美化功労賞をお受けになりました。

また、地域の小中学校においてコンサートやスポーツ教室を開催されるとともに、楽器や用具などをご寄贈いただいております。

さらに、平成19年(2007年)より取り組んでおられますクリーンウォータープロジェクト

トについて、今年も30周年記念事業と位置付け、タイの学校に浄水器を設置されると伺っております。

本市行政の各般にわたりまして、多大なご協力を賜っているところでございまして、吹田まつりに対しましては、毎年協賛金をいただくなど、並々ならぬご支援を賜っているところでございます。

このように地域に根ざした地道な活動から次代を担う人材の育成、さらには国際奉仕活動にいたるまで、30年という歴史の中で積み重ねてこられました数々のご功績、ご貢献に対しまして、改めて敬意を表しますとともに、深く感謝を申し上げる次第でございます。

さて、本市は昨年、日本経済新聞社による「環境保全」、「経済豊かさ」、「社会安定」の3つの側面から各都市の持続可能性を探るサステイナブル都市ランキング調査におきまして、西日本で1位、全国で10位という高い評価を受けました。

これは、本市がこれまで進めてまいりました多様な担い手による「みんなで支えるまちづくり」を推進する中で、多くの市民の皆様からいただいておりますご支援、ご協力の賜物であると心より感謝をいたしております。

今後ともこの結果に満足することなく、吹田市がますます発展してまいりますよう、市民の皆様と「大きな目標」「さわやかな夢」を共有しながら、「市民の無限の幸福(しあわせ)」の追求に全力を傾注してまいり所存でございますので、皆様方におかれましては、今後とも、ご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

初めにも申しましたが、本市は今年、市制施行70周年という記念すべき節目を迎え、4月には、多くの方々にご参加いただきまして、記念式典を開催いたしました。そして市政の輝かしい歴史に想いをはせながら、その礎を築いてこられました先人の皆様に心から敬意を表しますとともに、100年、200年先を見据え、吹田市のさらなる飛躍に向け、全身全霊を傾けてまいり覚悟をいたした次第でございます。

今年、一年を通しまして、「吹田再発見」のテーマのもと、地域の隅々から市民の皆様への熱い想いが燃え上がるような「地域の芸術祭」を基軸に、様々な記念行事を実施し、なくなりかけている「裏路地のぬくもり」を再生してまいりたいと存じますのでよろしく願いたします。

結びになりますが、吹田西ロータリークラブが、30周年を契機に、今後ますます発展してまいりますとともに、会員の皆様方のさらなるご活躍、ご健勝を心からご祈念申し上げます。私のお祝いのご挨拶とさせていただきます。

本日は誠にありがとうございます。

## 来賓挨拶

国際ロータリー第2660地区ガバナー 大谷透様



仲辻章会長を始め、吹田西RC会員の皆様、ご家族の皆様、創立30周年おめでとうございます。

来賓挨拶

創立30周年記念式典祝賀会  
吹田西ロータリークラブ



ナコンパノムRC会長

来賓挨拶

Ms. Wanphen Kultangwattana 様



30周年実行委員会  
家村実行委員長

記念事業紹介



皆様こんにちは、吹田西RC30周年実行委員長の家村武志でございます。本日は吹田西RC30周年の式典に、このようにたくさんのご来賓のみなさまのご臨席を賜り、心よりお礼を申し上げます。

さて、吹田西RCも創立以来30年の月日が経ちました、その間、我々が今日までロータリーの奉仕の心で、クラブ奉仕に、職業奉仕、地域の社会奉仕に、また、国際奉仕に力を入れ、魅力有る吹田西RCを創ってまいりました。

近年では我がクラブも若いメンバーが増え、吹田西RCの活性化の一翼を担って来ております。

また、地区とのつながりを密に持ってロータリー財団の補助金を使った大きな事業を行うようになりました。

そこで本年我々は～伝えつなぐ30年 笑顔一杯～“たしかなこと”をスローガンに30周年を企画してまいりました。今日は本日お見えの、ご来賓の皆様は吹田西RC・30年のすべてを知って、理解をしていただき、今後の末永いお付き合いと、ご指導ご鞭撻の程を宜しくお願いを申し上げます。それでは、30周年の記念事業を紹介いたします。

1980年に吹田RCをスポンサークラブとして誕生されてから早や30年が経過いたしました。34名のチャーターメンバーでスタートされた貴クラブは、以来ロータリーの綱領第一項を着実に実践し、10年後には倍増を達成され、1990年の創立10周年の記念日を68名の会員で祝われたのでございます。

そればかりでなく、創立10周年にあたりましては、クラブ拡大にも寄与され、スポンサークラブとなって、吹田江坂RCの創設を支援されたのでございます。

しかしその後、経済大不況の影響を受け、日本中の多くのクラブと同様に会員数は徐々に減少し、本年度は4月30日の時点で47名から2名の新会員を迎え、49名で30周年をお祝いされたのでありますが、クラブ例会への出席率の高さ、各奉仕部門活動のバランスの良さ、同好会の充実などクラブ活動は活気に溢れ、会員お一人おひとりが充実したロータリーライフをエンジョイなさっている事を物語っています。

元気のあるクラブである証拠の一つとして、野球のガバナー杯に於ける実力を挙げることが出来ます。絶えず決勝戦にまで残れるほどの実力を備えておられるのであります。

クラブの優秀さはクラブの枠を超えたロータリー活動において、指導的役割を果たす人物を排出するかどうかによっても評価されませんが、財団奨学生委員会の委員長や財団情報委員会の副委員長、地区WCS委員会にも委員をおくり、今までに地区において活躍してこられた多士済々の存在がその力を物語っています。

更に、貴クラブの奨学生に対する心のこもったお世話も、会員お一人おひとりの心の優しさと豊かさ実践能力の高さを物語っています。

本日は貴クラブの歴史に於ける30年という重要な節目を祝うと同時に、今まで積み重ねてこられた奉仕活動の数々を思い起こし、それは会員お一人おひとりの心の豊かさ優しさが残した足跡であると誇りに思い、更なる努力を明日につなぐ決意の日となることを期待しています。吹田西RC創立30周年に当たる年のRIテーマが「ロータリーの未来はあなたの手の中に」であったことを記念として記憶し、深く心に刻んで頂きたいと思っております。

現在のような立派な伝統を持つクラブを築かれたチャーターメンバー以来の歴代の会長を始め役員・会員の皆様に改めて敬意を表し、今後の貴クラブの益々の発展と会員及びご家族の皆様方のご健勝をお祈り申し上げます。

最後に、本日はタイやスリランカより、多くのロータリアンとご家族の方々が今回の記念式典に出席し、会場に輝きを与えてくださいましたことは、国際交流が非常にうまくいっている証であり、当地区のガバナーといたしましても喜びに耐えません。International guestsの方々に対しましても遠来のご訪問に対して心から歓迎と感謝の意を表します。

My fellow Rotarians from Sri-Lanka and Thailand. As the governor of this District, I would like to express my hearty welcome and the deepest appreciation for your friendship in Rotary, of visiting us all the way from overseas, and celebrating the 30<sup>th</sup> anniversary of this club together. This is a wonderful testimony of good international friendship serving for peace of the world. Thank you.



① [リオちゃん故郷へ帰る]

現在中国で開催中の上海万博が何かと話題になっていますが、吹田で開催されたあの大阪万博から40年が経ちました。

そのシンボルマークだった「太陽の塔」をデザインした巨匠岡本太郎を、以前にも増して大きく再評価する動きがあります。

吹田西ロータリークラブの30周年事業へたしかなこと〜の一つとして紹介しますのは、この「リオちゃん故郷へ帰る」です。

ここ吹田市江坂に本社を置く株式会社ダスキンと岡本太郎とのつながりは深く、現在ダスキン本社2階の自由空間ロビーに巨大なモニュメント「みつめあう愛」が、迫力いっばいに掲げられているのをご存じな方は、大勢いらっしゃるでしょう。

それとは別に、そのダスキンが運営するレストラン「カーニバルプラザ」が1983年に江坂にオープンしたとき、お店のキャラクターデザインを岡本太郎に依頼しました。「カーニバルプラザ」という店の名前から、ブラジル、サンバ、リオのカーニバルと発想され、リオの太陽をイメージしてシンボルマークが出来上がりました。それは、稲妻が走り、黄色の角を持ち、半球状の赤い装飾というもので、大阪万博の「太陽の塔」と、やはり彼がデザインした近鉄バッファローズのチームマークの牛の角が合体したものでした。

建物の老朽化に伴い、2007年に「カーニバルプラザ」が閉鎖され取り壊される時、「リオちゃん」と名付けられたシンボルマークも解体されその役目を終えることになっていましたが、当時レストランを経営していた(株)サンリバーから吹田市に寄贈され、同年市立博物館で開催された「エキスポ70万博展」の展示物の一つとして屋外に架設されていました。

私たちは、創立30周年を記念して、江坂のモニュメントとしてこの街にもう一度展示し、多くの市民の皆さんに見ていただき、活性化に貢献できればと、創立60周年を迎える吹田商工会議所との共事業として吹田市と交渉を重ねてきましたが、本日ご降臨いただきいます阪口吹田市長、並びに寺西吹田商工会議所会頭のご協力とご援助を得て、「リオちゃん」が故郷江坂に帰ってくることになりました。

その行き先が長い間分からず最近メキシコで発見された「明日への神話」など、世に知られていない岡本作品がまだ数多くあるそうで、この「リオちゃん」も、吹田市に寄贈されるまでその存在を岡本太郎記念財団も知らなかったと言われていました。

まもなく江坂の豊津公園で工事が開始されることになっています。今紹介しているのがその完成予想写真です。「リオちゃん」の大きな瞳は「安心と安全の街」を願って、道行く人々を温かく見守ってくれることでしょう。「リオちゃん故郷へ帰る」の紹介でした。

② [MG・クリーンウォータープロジェクト]

2006年度からWCS事業として新たに取り組んだ、タイ国ナコンパノム県の公立学校への浄水器と冷却装置の設置事業は、翌年2007年度から千里ロータリークラブとの共同WCS事業として08年度も行ってきましたが、今年度

の創立30周年記念の国際部門事業として、当該地の9校を対象とした我がクラブ初めてのマッチンググラントとして計画されました。千里ロータリークラブ、ナコンパノムロータリークラブの両クラブと事前の摺り合わせを綿密に重ね、ロータリーの年度初めである2009年7月1日のシカゴ時間午前0時にインターネットを通じてシカゴのロータリー財団本部へ申請しました。なにぶん初めての試みで、英文による書類作成に時間と労力を要しましたが、2660地区ガバナー事務所のご指導を仰ぎ、御陰様で当地区最初の承認を得ることが出来ました。今年度は世界経済不況の影響で、財団の基金が枯渇するというハプニングに見舞われましたが、早期の準備が功を奏し、満額US\$19,500-の予算承認を得たことは何よりのことでした。

「丘と山の町」という意味を持つナコンパノム県は、首都バンコクから航空機で1時間40分、距離にして約600km離れたタイ国東北部に位置し、母なる河「メコン」を挟んでラオスと国境を接しています。現地に於ける設置工事も順調に進み、本年2月12日と13日に行われた「引き渡し式」と「プロジェクトのオープニングセレモニー」に、我がクラブは仲代会長以下12名の代表団を派遣しました。時間の関係で9校全ての学校には回れませんでした。2日間で9校の合同の式典を行いました。各学校の生徒や教職員、地域住民との交流は、我々代表団の認識を新たに、旅の疲れを癒すものでしたが、何よりも遠慮がちな生徒達の喜びの笑顔は、我々ロータリアン一人一人にロータリーの奉仕の「たしかなこと」を再認識させてくれるものでした。



(左)タイ国 国防省 海軍次官 Kiatisak 提督

